

2023年

第25回

総会議案書

開催日時：2023年5月28日（日）10:00～12:00

開催場所：長房ふれあい館・創作室

特定非営利活動法人


市民ユニットりぼん

たすけあいワーカーズりぼん設立趣意書

日大人口研究所によれば、14年後、65才以上の人口は、世界で初めて20%を超え、2025年には、65才以上の寝たきりは228万人、痴呆症（注1）は321万人と現在の3倍になるそうです。この為、40才代の未就業女性の45%が介護に追われるだろうという分析もありました。2025年に40才代ということは、現在の小学生です。高齢化問題は、まさに私たち自身に、そして子供達にかかってくるのだと言えます。それに核家族化・小家族化が進む中、現代における孤独は、高齢者に限られる現象ではありません。泣きわめく赤ん坊を抱えて、途方にくれたり、病気や悩みによって、辛い思いをし、不安で泣いたりパニックになった経験のある人は多いはずです。家事労働も出産も子育ても親を看取ることも、それらの多くは、女性の手によって支えながら、社会的に正当な評価がされることなく、やれて当然という社会通念によって追い詰められていくのです。

今、私達は、ワーカーズコレクティブという新しい働き方を選び取りました。全員で出資し、働きながら運営し、雇われるのではなく、自主性、自発性に基づいた分担により、働き方もコントロールしていきます。お金を稼ぐ為だけの労働ではなく、働くことを自己表現のひとつとしてとらえ、生命を支える活動に自信と誇りをもって、取り組んでいきたいと思ひます。

アビリティクラブたすけあいと共に、今までの行政による福祉施策や民間の福祉サービス産業にはなかった市民主導による地域に開かれたたすけあいのしくみを作っていきます。

そして老いても障害を持っても当たり前暮らし続けることのできる街づくりに繋げていきたいと思ひます。

1993年4月

注1) 2004年に厚生労働省より差別的だとして公募により「認知症」に用語が統一された

NPO 市民ユニットりぼんの目的

市民によるたすけあいの理念に基づき、高齢者・障害者・子育て支援等の活動を行い、自らの生活を主体的に決定する市民自治によるまちづくりと地域福祉の増進に寄与することを目的とする

市民によるたすけあいの理念とは

- ① お互いの尊厳を尊重し、たすけたり、たすけられたりという相互扶助の精神を大切にします
- ② 「どんな状況においても自分のことは自分で決める」という自己決定を尊重します
- ③ 自分の常識にとらわれず、多様な方法で問題解決を図ります

議事次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 資格審査
4. 議長・議事録署名人 選出 及び 書記任命
5. 議事審議

第1号議案 2022年度活動・事業報告及び収支決算の件

- I. 2022年度活動・事業報告
- II. 2022年度収支決算報告
- III. 2022年度監査報告

第2号議案 2023年度方針案及び事業計画案

及び収支予算案の件

- I. 2023年度方針案
- II. 2023年度活動・事業計画案
- III. 2023年度収支予算案

第3号議案 役員改選の件

第4号議案 職員代表選出の件

第5号議案 代表理事報酬の件

6. 議長・書記 解任
7. 閉会

目 次

第1号議案

2022年度活動・事業報告及び収支決算の件

- I. 2022年度活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2022年度事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- II. 2022年度収支決算報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- III. 2022年度監査報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

第2号議案

2023年度方針案及び事業計画(案)及び収支予算(案)の件

- I. 2023年度方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- II. 2023年度活動計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 2023年度事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- III. 2023年度収支予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

第3号議案 役員改選の件・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

第4号議案 職員代表選出の件・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

第5号議案 代表理事報酬の件・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

【資料】組織図

第1号議案 2022年度活動・事業報告、及び収支決算の件

2022年度活動報告

コロナ禍での3年間、「流行拡大を抑える対策」を日々行いながら業務を行ってきました。経営面での厳しさもさることながら、対面でのコミュニケーションを極力減らし、感染対策を守りながら業務に就く職員の精神的負担は計り知れないものでした。負担感や不安が少しでも軽くなるよう書面での研修、少人数でのミーティング、在宅ワークの実施など感染リスクを下げ、効率的に業務をすすめられるよう工夫を凝らしました。職場に滞在する人、時間も最低限に絞ったこともありました。限られた時間で業務の効率を考えながら職員一人ひとり活動したのです。会話を楽しみながらの食事会や法人運営を議論してきた定例会は顔を合わせて行うことができませんでしたが、他の方法を見つけることができました。また、感染者が出た場合に他事業者と連携をとるなど地域で助け合うこともできました。千人町のひだまりの家、横川町のケアプランサービスりぼん・介護サービスりぼん、上壱分方町のみんなの居場所カフェりぼんが構成メンバーを大きく減らすことなく継続できたことはこれからの法人運営の糧となりました。

◆ 定款に沿った活動を行いました。

会員活動	
目標	総括
地域福祉増進のために、市民によるたすけあいのステージを増やしていきます。会員活動の場及び地域の人たちとの活動の場を増やしていきます	コロナ感染拡大予防のため・交流会「結びの会・りぼん」&家族介護者の会・救急救命講習会・会員交流会・定例会は今年度もやむなく中止としましたが、いちょう祭りには手作り品中心のバザー、酒饅頭の販売で出店し会員同士の交流、他団体との交流が出来ました。
① 地域活動	
地域の交流の場としてひだまりの家やみんなの居場所カフェりぼんを提供していきます。	ひだまりの家の空き曜日に“リコーダークラブ”と“絵画クラブアトリエ友”に活動の場所を提供しました。 みんなの居場所カフェりぼんでは開所時に、趣味のグループが集まることが出来ました。
障害者就労支援体験の場を提供します	機会がありませんでした。
広報活動を推進します	「おはなしりぼん」の発行は出来ませんでした。 「ホームページ更新」は各部門の利用者アンケートなど、随時行いました。

出前介護講習	機会がありませんでした。
在宅心身障害者 緊急一時保護登録支援	新規の登録者、利用はありませんでした。
まちづくり市民運動	生活クラブ運動グループ八王子地域協議会の定例会へ出席しました。
②法人内活動	
ひだまりの家支援 庭作りボランティア 登録ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・殆ど予定通りに活動できました。草むしりや枝の剪定をはじめ、野菜の苗の植え付け管理等、1年を通してご利用者に庭を楽しんでいただきました。 ・新型コロナウイルス感染防止を配慮しながら、小演奏会が開催できました。また傾聴等を通し利用者さんとのかかわりが深まりました。
みんなの居場所“カヱりぼん”支援	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のお当番、居場所で提供するクッキーづくりなど運営に携わりました。 ・庭の枝、草刈りを定期的に行い、地域の方々が気持ちよく利用できるよう環境整備を行いました。

法人事務局・総務	
法人事務局	総括
	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の円滑な運営のための取り組みました。
セキュリティ管理 個人情報保護	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ委員会を随時開催しました
各種規程の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・「虐待防止対応規程」「虐待防止委員会規程」「身体拘束適正化規程」 ・「職場におけるハラスメントの防止に関する規程」 ・「特定処遇改善金支給規程」「処遇改善支援補助金等支給規程」
安全衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、職員のコロナ陽性、濃厚接触者が発生した場合、マニュアルをもとに各部門連携を取り対処できました。 ・日本財団 PCR 検査無料事業を利用し検査を実施しました。無料事業終了後は、東京都集中的検査で抗原検査を実施しました。 ・インフルエンザワクチンの予防接種を推進しました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・業務車両の安全な運転に必要な業務を行うものとして安全運転管理者を選任しました。安全運転管理者による運転者の運転前後のアルコールチェックの義務化に伴い、チェックを行い記録を保存しました。 ・従業員健康状況報告 <table border="1"> <tr> <td>労災申請</td> <td>勤務制限必要者</td> <td>休業必要者</td> <td>出勤停止者</td> <td>復職者</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6人</td> <td>6人</td> </tr> </table>	労災申請	勤務制限必要者	休業必要者	出勤停止者	復職者	0	0	0	6人	6人
労災申請	勤務制限必要者	休業必要者	出勤停止者	復職者							
0	0	0	6人	6人							
労務管理	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の勤務時間の管理、就業規則、所定労働時間の遵守に努めました ・職員の健康を維持するため、年1回の定期健康診断受診を促進し、9割の職員が受診し、健診結果を参考に健康状況を各部門管理者とともに把握しました。 										
法人会員管理	正会員数 33名 (3月31日現在) 賛助会員 2名										
会議報告	定例会 開催無し 理事会 4回開催 理事運営会議 9回開催 管理者会議 2回開催 安全衛生委員会 2回開催 事故検討委員会 1回開催 虐待防止委員会 1回開催										
総務	総括										
	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅ワークの推奨、また分散して業務を行いました。 ・新型コロナウイルス感染予防のための備蓄品のマスク、アルコールを部門と協力し随時配布しました。 ・以下の業務について職員間の業務共有化の推進・定着を図りました。 (小口現金精算、なんでも隊利用料請求、処遇改善金等の加算金支給額計算) ・ひだまりの小口現金対応はスムーズに定着することが出来ました。 ・介護職員処遇改善支援補助金、福祉・介護職員処遇改善特定交付金、ベースアップ加算の申請を行いました。 ・事務所東側の看板取り替えと、入口サッシの電話番号シールの張替えを行いました。 ・事務所の照明の配電盤の劣化に伴い、LED照明に取り替えました。 ・6月に“丸紅基金”の助成金の申請(ひだまりの家のエアコン、洗面台、トイレの便器で上限200万円)を行いました但未採用されました。 										

2022 年度事業報告

介護サービスりぼん																										
目標			総括																							
事業	目標	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度6月に介護保険の実地検査を受けました。文書による改善点は無かったものの、口頭での指摘事項を改善することが出来ました。適切な事業運営ができたと思います。 ・目標とした時間数を上回っての実績。収益目標も達成できました。 																							
介護	250	275																								
予防	50	44																								
障害	180	182																								
自費	20	9																								
合計	500	510																								
(単位時間/月)																										
従業員数			<ul style="list-style-type: none"> ・新たな人員確保は厳しいものでした。1名の退職、利用者様のケアの都合で1名の入職がありました。継続して勤務している職員は体調を大きく崩すことなく、業務に当たることが出来ました。 ・非常勤職員は現状維持の働き方を希望する者が多く、それぞれがそのように働けたとの評価でした。常勤職員も業務効率を考えながらケアやその他の役割に当たることが出来ました。更なる業務効率向上が今後の課題と考えます。 																							
常勤	4名																									
登録ヘルパー	7名																									
本人が安心して介助を受けられるような介護技術の獲得			<ul style="list-style-type: none"> ・法人としての研修に参加しました。資料配布によるものや動画視聴のもの、人数を減らして対面での研修も行えました。 																							
責任ある労働の提供			<ul style="list-style-type: none"> ・顔を合わせての職員会議を希望する声が寄せられたものの、実施できませんでした。必要事項の連絡体制は取れていると考えますが、今後の課題と思います。 																							
地域社会活動			<ul style="list-style-type: none"> ・在宅介護初心者への訪問指導はありませんでした 																							
苦情・事故・ヒヤリハット			苦情：0 <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%;"> <thead> <tr> <th>破 損</th> <th>ケア忘れ</th> <th>ケアミス生活</th> <th>ケアミス身体</th> <th>遅刻など</th> <th>物品持ち帰り</th> <th>私物忘れ</th> <th>手配ミス</th> <th>ひやりはっと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 件</td> <td>1 件</td> <td>4 件</td> <td>0 件</td> <td>4 件</td> <td>1 件</td> <td>2 件</td> <td>件</td> <td>1 件</td> </tr> </tbody> </table>						破 損	ケア忘れ	ケアミス生活	ケアミス身体	遅刻など	物品持ち帰り	私物忘れ	手配ミス	ひやりはっと	1 件	1 件	4 件	0 件	4 件	1 件	2 件	件	1 件
破 損	ケア忘れ	ケアミス生活	ケアミス身体	遅刻など	物品持ち帰り	私物忘れ	手配ミス	ひやりはっと																		
1 件	1 件	4 件	0 件	4 件	1 件	2 件	件	1 件																		

ケアプランサービスりぼん	
目標	総括
事業実績 介護 972 件 予防 301 件 認定調査 280 件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予防は計画件数（300 件/年）を上回ることが出来た。ADL 等向上し介護保険サービス利用を終了するケースもあった。 ・ 介護は計画件数（972/年）の支援を行うことが出来た。 ・ 認定調査は 1 月から調査員が増員されたことにより目標件数（180 件）を大幅に上回ることが出来た。
従業員数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 名の従業員で居宅介護支援業務を行った。 ・ 昨年度、介護支援専門員としての業務を退いた従業員が 3 月よりケアマネとして復帰し予防プランを担当することになり従業員が増えたことで事業所全体が活気を持つことが出来た
運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中立公正な立場でアセスメントに基づき、個々の利用者のニーズにあった情報提供等、支援を行うことが出来た。 ・ 利用者の利点を生かし、笑顔がみられる支援に近づけることが出来た。 ・ 月 1 回業務会議開催、日々の情報交換等行うことで事業所内の意見交換が出来た。 ・ 年 1 回健康診断、週 2 回コロナウイルス抗原検査を実施し、自身の体調管理を行うことが出来た。
サービスの質向上と選ばれる事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度もコロナ禍の中、訪問時間等感染予防に気遣いながらの情報収集、モニタリングとなったがサービス事業所との連携を密に図り支援に努めることが出来た。 ・ 変化などに早めの対応を行うことが出来、不満のない生活を提供出来た。 ・ 八王子市実地指導が行われ、改善事項なく無事終了した。 ・ 法人共通研修、八王子市介護支援専門員連絡協議会主催研修に参加し、知識、気づきなどを学んだことで参考にすることが出来た。 ・ 訪問介護事業所と協働でマニュアルを作成した。
地域社会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「結びの会りぼん」の開催は、コロナ感染予防の為、開催は中止とした。 ・ 水害ハザードマップに該当する利用者の個別避難計画書作成を行った。
苦情・事故 ヒヤリハット	<ul style="list-style-type: none"> ・ ありませんでした。

ひだまりの家		
目標	総括	
2022年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度後半から少しずつ利用者数が増えてきて、今年度は目標を上回ることができたが、施設入所者やショートステイの利用頻度が大幅に増えてきている傾向にある。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止関連を理由に利用休止もあった。 ・令和3年12月から開所した土曜日は入院入所者が続き、まだまだ利用者が定着していない状況である。働ける職員も限られている状況がある。 	
介護目標		介護実績
8.5人/日		9人/日
予防目標		予防実績
1.5人/日	2.1人/日	
従業員数	<ul style="list-style-type: none"> ・11月にパート看護師1名退職、10月にパート調理員1名入職あり職員は、常勤職員1名。パート職員は、介護員5名看護師2名、調理員3名、運転手2名（介護員兼務1名）。 	
サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の日々の状態変化や月の報告などをケアマネジャー等にすることができ、サービス機関との連携を図ることができた。 ・苦情事故ひやりはつとを随時報告し、会議等でスタッフ間共有することができ、再発を予防できた。 ・利用者アンケートを実施し結果内容を職員間で共有し質の向上に努めた ・全体の研修は実施できたが、職種別研修の充実が図れなかった。 ・職員個々の自己点検表から、自分が足りない部分を職員間で共有することができ、日々の質の向上に繋げることができた。 	
栄養管理	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の素材を取り入れバランスの取れた食事を提供することができ、食を通じて楽しみを感じてもらえた。急な病態による対応や、個別の対応が多くなる中、職員間で連携を図り対応することができた。 ・材料費の高騰の中、生協の変更を行い食材や調理法を工夫し提供できた。 	
安全衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策として、手洗い、消毒、マスク、換気、検温を徹底し、全員に理解してもらえるよう日々の中で声かけの仕方などを工夫した。 ・飲食時は密を避けた席の配置を整え、アクリルを板使用し感染予防に努めることができた。職員は感染防止のため、一人ずつ昼食を摂るようにした。 	
災害対策及び 施設管理	<ul style="list-style-type: none"> ・地震及び火災を想定し訓練を行うことができたが地域との連携した訓練は実施できなかった。地域の防災訓練に参加することはできた・消防士を呼んで行う、救急救命講習会は実施できなかった。 	
地域社会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議を9月と3月に実施し、地域の方の声を聞くことができた。 ・包括支援センター主催の地域会議に出席し地域の方との交流が持てた。 ・引き続き、ボランティアや職場体験の中学生の受け入れが実施できた。 ・地域の方との交流会は、実施できなかった。 	
苦情 事故・ひやりはつと	<p>苦情：0件</p> <p>事故・ひやりはつと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両物損事故が発生し、改めて運転業務上の注意点の確認ができた。 ・飲食中の事故があり、改めて嚥下障害等の注意点及び重要性を確認した。 	

みんなの居場所カフェりぼん			
目標		総括	
140,000 円		実績 290,860 円 八王子市ふれあい・いきいきサロンの見守り加算(80,000 円)を申請しサロン参加者(スタッフ含む)同志の見守り活動を実施した	
		年間活動日数	年間参加人数
		260 日	1,126 人
		年間スタッフ人数	166 人
従業員数 登録ボラ 12 名		月～金 12:30～16:00 一人でお当番担当	
目的に沿った活動		① 密を避ける為、麻雀、トリム体操、食事の提供は中止とした。 ② ワコイコンサートは1月にオカリナ演奏会が開催でき音楽を身近に感じて楽しんでいただけた。 ③ 夏休み、年末年始休み以外開所することが出来た ④ 元八市民センターまつりでのバザーはなかったが、居場所を使って手作り品のバザー、酒饅頭、韓国海苔巻き、いなりずしの販売、2021 年度購入したプロジェクターを使って中村哲さんの“働くということ”の上映会が開催でき好評だった ⑤ 「みんなでつなごう元八のわ」プロジェクト活動報告会参加し、コロナ禍の中、活発に活動しているサロン、居場所の状況を知ることが出来、カフェりぼんの活動の参考になった。	
助成金		八王子市一般予防サロン活動支援事業「常設サロン」支援金 504,000 円(見守り加算 80,000 円を含む)受給	

II. 2022 年度収支決算報告

II. 2022 年度監查報告

第2号議案 2023年度方針及び事業計画(案)及び収支予算の件(案)

I. 2023年度方針(案)

○ 経営理念

自分自身が利用したいと思えるサービス事業者を目指します。

- ・メンバーひとりひとりの協力のもと経営基盤を確立し安定した経営を目指します。
- ・利用者の意思や人格を尊重し、利用者の立場に立ったサービスを提供します。
- ・地域住民又はその自発的な活動等との連携及び協力を行うなど、地域との交流を推進し、地域福祉サービスの拠点を目指します。

■ 地域に根ざした法人を目指す

1993年、「老いても、障がいをもって、当たり前暮らし続けることが出来るまちづくり」を目指して「たすけあいワーカーズりぼん」が誕生。手探りで活動を始めてから今年で30年となります。

1999年に任意団体の「たすけあいワーカーズりぼん」から「NPO法人市民ユニットりぼん」へと名称をかえ、私たちが7年間行って来た活動の一部は公的な介護保険サービス、障害福祉サービスとして確立し、任意団体のころから比べると経営基盤は安定してきました。

現在、八王子の高齢化率は27.2%（令和2年9月現在）。

介護保険サービスのニーズは高まり、介護保険制度だけではカバーしきれない程、生活のニーズは個別化され増大しています。

3部門の充実した事業継続はもとより、ボランティア的な会員活動の充実も望まれる所です。が、市民ユニットりぼんの現状は全国の介護事業所と同じく、深刻な人材不足、高齢化に追い込まれています。

この状況の中でも私たちに何が出来るのか？ 私たちは何をしたいのか？ りぼんらしい活動は何なのか？ 今こそ、逃げずに議論する必要があると思います。

今までもそうであったように、意見を出し合うことで、又、新しい福祉の拠点としての活動を広げていくことが出来ると思います。

人生100年時代といわれる昨今、住み慣れた地域で共に暮らせる共生のまち、いつでも手の届くところにいる「市民ユニットりぼん」である為に飛躍しましょう。

■サービス提供体制の充実を図り、サービスの質の向上を目指します

- 「チーム会議」「職員会議」「部門ミーティング」等を十分に機能させ職員間のコミュニケーションを図ることで、働きやすくやりがいのある職場を目指します。
- 各事業所の経営体制を安定させるため、理事会および理事運営会議、管理者会議において各事業所の経営状況を把握、分析を行い経営改革を迅速に行います。
- 苦情及び事故等の処理を円滑かつ迅速に行うために苦情事故等検討委員会を開催し、再発防止を徹底します。
- すべての職種に共通した研修を実施し、各種職種別研修の参加を推進します。
- 法人全体で個人情報保護に取り組んでいきます。
- 介護サービス情報の開示を実施します。
- 職員の健康に配慮し、責任あるサービスの提供に努めます。

■誰もが集える場所、気軽に立ち寄れる場所づくりを目指します。

- 地域を知って地域のニーズをひろいます。
- 公的なサービスでは解決出来ないサービスを作ります。
- 会員数を増やしていきます。
- スタッフも、地域の人も、誰もが楽しく集える場所を作ります。
- 地域の顔が見える関係を作ったすけあいの輪をひろげていきます。

II. 2023年度活動・事業計画（案）

会員活動

【地域福祉増進のために、市民によるたすけあいのステージを増やしていきます。会員活動の場及び地域の人たちとの活動の場を増やしていきます】

新型コロナウイルス感染症が昨年度とおなじ状況が続くと思われる。そんな中、法人活動が停滞しないよう会議（ズーム会議の利用等）を工夫して、部門の業務会議や、業務ニュースなどに発信してゆきます。

①地域活動

- ✧ 地域の交流の場として、ひだまりの家やみんなの居場所「カフェりぼん」を提供していきます。
- ✧ 障害者就労体験の場を提供します。
- ✧ 広報活動を推進します。
 - ◎広報紙「おはなしりぼん」の発行
 - ◎ホームページで広く法人の活動を広報していきます。
- ✧ 出前介護講習
在宅介護初心者の自宅に出向いて介護方法等の講習を行い介護者を支援していきます。
- ✧ 在宅心身障害者緊急一時保護制度が利用できるよう会員の介護人登録推進します。但し「コーディネート」は行いません。
- ✧ 「結びの会、カフェりぼんワンコインコンサート」を年1回広く地域にむけて開催します。
- ✧ 寄付金活動
いちよう祭り等を活用して、バザー等の売上金を寄付する活動を行います。
- ✧ 市民運動・政策提言
地域で暮らす生活者として、まちづくりや環境・食の安全等を定例会等で話し合い、生活クラブ運動グループ地域協議会などと連携して課題に取り組んでいきます。
- ✧ 他団体と共に地域福祉の向上及び地域包括システム（ネットワーク）の活動を行います。

②法人内活動

- ✧ ひだまりの家の支援を行います。
 - ◎庭作りボランティア
 - ◎登録ボランティア
- ✧ みんなの居場所カフェりぼんの支援を行います。
 - ◎開所時のお当番ボランティア
 - ◎庭の草むしりや、環境整備のボランティア
- ✧ 救急救命講習を実施します。
- ✧ 会員交流会を実施します。
- ✧ 定例会の開催方法を検討します。

法人事務局・総務	
法人事務局	方針
<p>法人活動が停滞しないように会議を工夫したり、りぼんニュース、部門の会議やニュースなどに発信していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人の円滑な労務管理、財務管理、法人会員管理、職員管理を目指します。 ・法人の円滑な運営の充実を目指します。 <ol style="list-style-type: none"> 1、個人情報保護に取り組めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ委員会を随時開催します。 ・職員向けの研修を各部門管理者と共に開催します。 2、安全衛生管理に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナをはじめ感染症予防の基本を守ります。 ・安全衛生委員会を随時開催します。 ・従業員の勤務時間の管理の徹底を継続。また、働き方改革の労基法を順守します。 ・従業員の健康を維持するために定期健康診断受診を促進します 3、各種規程の周知のための研修を随時行います。 <ul style="list-style-type: none"> 「虐待防止対応規程」「虐待防止委員会規程」「身体拘束適正化規程」 「感染症予防対策規程」 「職場におけるハラスメント及び介護現場におけるハラスメント防止規程」 4、安全運手管理者の指導のもと交通安全と運転者の運転前後のアルコールチェック実施し 5、介護サービス事業所の令和5年度末までにBCP（事業継続計画）の義務化に向けて部門と協力して計画書の作成を行います。 	
総務	方針
<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の職務内容の共有化 (レセプト業務と決算業務) 	

Ⅱ. 2023年度事業計画（案）

介護サービスりぼん	
目標	方針
事業内容	介護保険介護給付事業、介護予防・日常生活支援総合事業、障害福祉サービス、八王子市移動支援事業、自立支援事業（なんでも隊）
目標件数	介護保険 250 時間 予防 50 時間 障害 180 時間 自費 20 時間 合計 500 時間 (単位時間/月)
従業員数	常勤 4 名 登録ヘルパー 7 名
事業運営方針	<ul style="list-style-type: none">・ 本人の望む在宅生活の理解と支援・ 本人が安心して介助を受けられるような技術の獲得・ 責任ある労働の提供
職員処遇	<ul style="list-style-type: none">・ 年 1 回の健康診断を推進します。・ 毎月 1 回の常勤職員業務会議を実施し情報の共有を図ります。登録職員には業務ニュースとして配信。それぞれが情報を適切に得て安心して業務対応できる環境を作ります。・ 研修計画をたて、参加を推進します。
地域社会活動	在宅介護初心者の自宅に出向き介護方法等の講習を行い介護者の支援を行います。

ケアプランサービスりぼん	
目標	方針
事業内容	介護支援 予防委託支援 認定調査
従業員数	管理者1名 常勤1名 非常勤2名
目標件数	介護 81件/月 (管理者26件 常勤32件 非常勤23件) 予防 28件/月 (管理者8件 常勤9件 非常勤6件 非常勤5件) 認定調査 40件/月
事業運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・中立公正な立場でニーズにあった情報提供を行い利用者、家族が選択出来るよう支援を行っていきます。 ・利用者が持てる能力を生かし、笑顔がみられる支援を行います。 ・月1回業務会議を開催し、情報共有を行います。又、日々、支援を行う上で課題があった時は相談、意見交換などを行い支援のヒントとし、精神的負担の軽減に努めます。 ・年1回健康診断を実施し健康な身体と精神で業務を遂行してまいります。 引き続き、コロナ感染症やインフルエンザ感染予防に努めます
サービスの質向上と選ばれる事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の持てる能力、望むこと等、潜在的なニーズを探り、生かされる支援を行っていきます。 ・ニーズにあった社会資源を公正中立な立場で情報提供を行い利用者自己決定できる様、支援を行います。 ・疾病、障害や家族構成等、それぞれ違った環境にあっても安心して暮らせる様、地域やサービス事業所と連携を図り支援をしていきます。 ・事故、苦情、ひやりハットを共有し再発を予防してまいります。 ・利用者アンケートを実施し、より多くの意見、要望を聞き取り、改善することで質の向上に努めます。 ・積極的に研修に参加することでスキルアップを目指します。 ・災害、感染症に対応したマニュアルを作成し事業継続を目指します
地域社会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・法人と協働で「結びの会りぼん」を開催します。 ・「みんなのわ」プロジェクトに参加し地域に不足しているサービスを共に考えていきます。

ひだまりの家	
目標	方針
事業内容	地域密着型通所介護事業・介護予防日常生活支援総合事業・延長利用自費サービス
目標件数	・要介護 9.5 人/日 要支援 2 人/日
従業員数	・常勤職員 2 名（40 時間/週、32 時間/週） ・非常勤職員 11 名（介護員 4 名、看護師 2 名、調理員 3 名、運転手 2 名）
事業運営方針	・小規模を生かし、家庭的な施設を目指します。 ・利用者の在宅生活が継続できるよう日中の生活を支援します。
サービスの質の向上	・プログラム活動の充実を図り、本人及び介護者の支援をします。 （年間行事, 月間プログラム, 手作り制作, おやつ作り, 近隣外出・・・等） ・ケアマネジャーとの連携を図り状態変化等の報告を迅速にします。 ・利用者アンケートを実施し、サービスの満足度や要望の確認をします。 ・ひやりはっとを見落とさずに報告し、会議等で対策を検討し、再発防止に努めます。 ・職員の連携を図り、サービスが充実できるように努めます。 ・各職種に関わる研修を受講し、サービスの質の向上及び虐待防止に努めます。
栄養管理	・季節の素材を取り入れ、バランスの良い献立で提供します。 ・お誕生日御膳や行事に合わせたメニューを取り入れ、食の楽しさを提供します。 ・個別対応及び病態による対応を適時します。
安全衛生管理	・感染症を理解し、手洗いなどの感染症対策を徹底します。 ・食品等の衛生管理に努め、定期的な検便を実施します。
災害対策及び施設管理	・避難訓練を利用者と共に実施します。 ・日々の整理整頓を心がけ、危機管理に努めます。
地域社会活動	・運営推進会議を年 2 回開催し、日々の活動状況報告や、感染症予防対策を検討し、地域との連携を図ります。 ・防災の意識を高め、地域の方と訓練を共有するように努めます。 ・地域や他団体との交流を深め、学生やボランティアの受け入れを積極的に行います

みんなの居場所カフェりぼん	
目標	方針
270,000 円	八王子市のサロン助成金を申請 412,000 円 月～金 13:00～16:00 の開所
活動内容 目的に沿った活動	<p>【目的】</p> <p>1、地域の人たちが昔の縁側のように気軽に立ち寄れる交流の場とします。</p> <p>2、公的サービスだけではニーズが満たされない高齢者の行き場として、居場所を開放し特技を生かしてもらいます。</p> <p>3、地域の方々や職員の交流の場、特技を生かす場として活用します。</p>
	<p>喫茶</p> <p>映画鑑賞会</p> <p>握力計を使っての自己健康観察</p> <p>ワンコインコンサートの開催(年3回)</p> <p>木目込み</p> <p>手作り講習会</p> <p>バザー&健康相談(年2回)</p> <p>ラジオ体操</p> <p>サークルへの場所貸し</p>
	<p>*気軽に立ち寄れる居場所として企画を考えて行きます。</p> <p>*多世代が楽しめる企画を催すことで利用者層の拡大を図ります。</p> <p>*他団体（サロン、居場所など）との交流を行っていきます。</p> <p>*ボラティア、スタッフで地域、利用者の見守り活動を行い、高齢者あんしん相談センターと連携して介護重症化を予防していきます。</p>

第3号議案 役員改選の件

理事候補者	浜口 龍太
	青山 登
	井上 智恵
	内田 富美子
	鈴木 真砂子
	早川 寛子
	木下 清子
監事候補	長田 洋一

第4号議案 職員代表選出の件

千葉 幸子 (任期2023.6.1～2024.5.31)

第5号議案 代表理事報酬の件

代表理事報酬月額 20,000円とする。

ただし、別途職員としての業務に対し給与等を支給することを妨げない。

